

指向性を制御可能なアンテナを用いた無線通信システム

ミリ波ワイヤレスシステムにおいて安定した伝送路の確保が可能

概要

2015年に実現を目指す第4世代の60GHz帯ミリ波ワイヤレスシステムにおいては、CD一枚分のデータ(640MB)を3秒以内で転送することを目指している。60GHz帯の特徴としては直進性が高い電波の届くエリアが狭い、ライセンスフリーで広帯域が利用可能等がある。

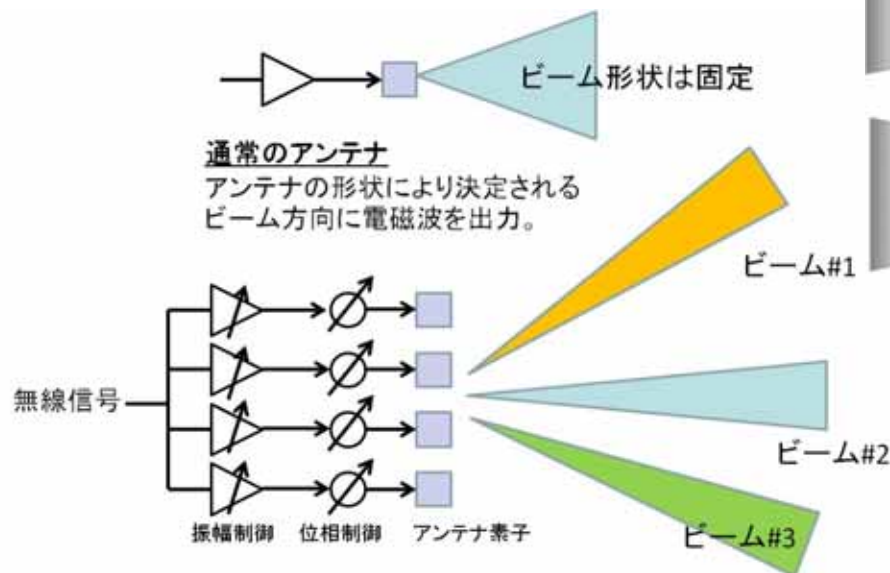
本発明は、送信機からビームが直接受信機に到達する直接波が遮断された場合でも最適な通信路確保しようとするものである。

効果・応用例

- 直接波が遮断された場合でも意図的に設置した反射板からミリ波をトラッキングすることによって選択して通信を確保可能
- 直接波、反射波を含めた複数のミリ波のビームフォーミングアンテナの中から最適なビームを選択することが可能

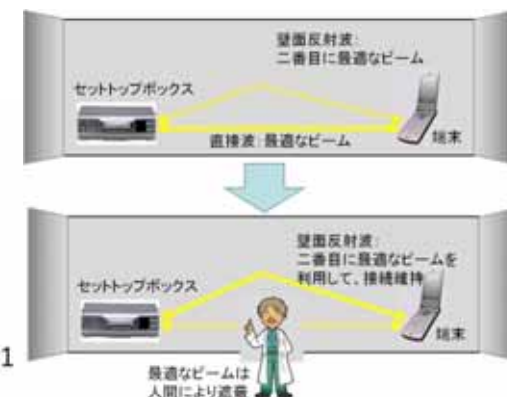
特許データシート

特許番号(整理番号): 特開2010-161513(T08-129)
発明者: 中瀬 博之、加藤 修三、沢田 浩和



ビームフォーミングアンテナ

複数のアンテナ素子に位相の異なる信号を入力し、空間で信号合成することにより、指向性を決定。位相制御を可変にすることでビームの向きを変化させることができる。



連絡先

株式会社 東北テクノアーチ
TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419
お問い合わせは、[こちら](#)からお願いします